



年 組 名前

道新 ワークシート

差し込む朝日を受けて、きらめくダイヤモンドダスト。2月27日午前7時40分



ダイヤモンドダスト 美瑛に出現

舞う結晶きらめく銀河

【美瑛】厳しい冷え込みが続き、町内で2月下旬、晴れて地表の熱が奪われる放射冷却の影響により、ダイヤモンドダスト（細氷）が現れた。最低気温氷点下23・3度を観測した27日早朝には、朝日に照らされた氷の結晶がキラキラと輝き、辺りを舞った。ダイヤモンドダストは空気

中の水蒸気が冷やされて凍った、ごく小さな結晶が空気中を舞う現象。結晶が太陽光を反射することで、緑や赤、黄色に輝く。気温や湿度などの気象条件がそろった時にのみ発生するため、目にすることは少ない。好条件の日には、そのきらめきを写真に収めようと撮影ス

ポットに多くのカメラマンが集まる。

撮影に訪れた札幌市の主婦梶村恵さん(66)は「まるで宇宙の銀河のよう。運良く見られて感動です」とシャッターを切っていた。

(大島拓人、写真も)



好条件の日には多くのカメラマンが集まり、真剣な表情でレンズを向ける

2018年3月1日朝刊旭川・上川版 (記事は再編集しています)

①ダイヤモンドダストとは、どのような現象（げんしょう）ですか。

②あなたの地域（ちいき）では、雪や寒さを生かして、どのような取り組みをしていますか。